

みん・みんの会第10回総会

&木曾川上下流交流・連携の集い

日時:2019年11月30日(土)13時開場、13時15分開始

会場:「ソーネ・おおぞね」ホール 電話:052-910-1001(代表)

(JR、名鉄、地下鉄大曾根下車、徒歩約10分。地図参照)

☆みん・みんの会総会:13時15分~14時10分

☆木曾川上下流交流・連携の集い:14時20分~16時15分

内容:「木曾川上下流交流・連携の歩みとこれから」

記念講演:三宅 勝さん(元名古屋市上下水道局長、名古屋市立大学都市政策研究センター長)

発題:唐沢 尚之さん(木曾町・小池糰店)

☆参加費:1,000円(資料代含む)

みん・みんの会の第10回総会を2019年11月30日(土)午後1時15分から名古屋市北区山田町にある大曾根住宅1階の「ソーネ・おおぞね」のホールで行います。JRや地下鉄、名鉄の大曾根駅から徒歩で約10分のところでは。

総会では①2018年度活動報告②2018年度会計報告(収支決算)③「木曾川流域水源の里基金」の現状報告と運用④2019年度活動計画⑤2019年度予算などについて話し合います。

会員の皆さん、ご出席下さい。

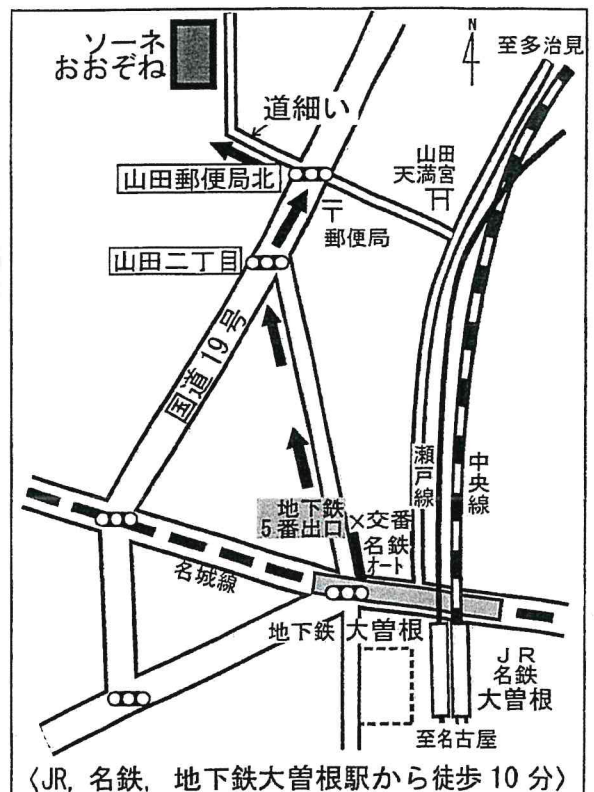
総会に続いて午後2時20分ごろから木曾川上下流交流・連携の集いを行います。

今回は記念講演として、三宅勝さん(元名古屋市上下水道局長、名古屋市立大学都市政策研究センター長)に「おいしい水と上下流交流」(仮題)をテーマに名古屋市水道事業の歴史、おいしい水の取り組み、そして2010年から始まった木曾三川流域連携などについてお話しいただきます。

また、発題者として、唐沢尚之さん(木曾町・小池糰店)から「木曾川流域交流・連携のこれから」について語っていただきます。唐沢さんは、みん・みんの会が

「上流は下流を思い、下流は上流に感謝する」交流・連携の10年の歩みの中で、いつも一緒に身体を動かしながらいろいろと話し合ってきた木曾川上流の仲間です。木曾音楽祭、手仕事市のイベントや発酵食品・文化をめぐる発信など、多彩に活躍している人です。

“人が動き、モノが動き、ココロが動く”関係が積み重なっていく上下流交流・連携を創っていきましょう。皆さん、ご参加下さい。



～9月14日、木曽青峰高校生3人が科学館見学～

2019年9月14日に長野県木曽青峰高校インテリア科3人の男子高校生が名古屋市科学館2階にある「ウッディ・プレイランド」を見学しました。



山田学芸員の説明に聞き入る高校生＝名古屋市科学館で

3人は来春の科学館への寄贈に向けて、木製玩具の制作に取り組んでいます。子どもたちが同校インテリア科の先輩たちが制作した木製玩具で楽しんでいる現場を見て回りました。この経験は作品作りに活かされていくことでしょう。

私たちは木曽川上下流交流の一環として、木曽青峰高校インテリア科の3年生に、地元の間伐材などでベンチや木製玩具の制作・贈呈をお願いしてきました。最初に同校インテリア科を紹介していただいたのは、木曽広域連合地域振興課の皆さんでした。その縁のお陰で、今日まで続いています。

*基金の運用について、皆様のご意見、ご感想をお寄せ下さい。よろしく申し上げます。

2011年2月の名古屋市東山動植物園へベンチ12脚の贈呈から始まり、2013年2月名古屋市科学館へ9種類の木製玩具、2014年2月名古屋城天守閣へベンチ4脚、同年2月JR木曽福島駅前バス待合室へベンチ4脚、2015年3月名古屋市科学館へ4種類の木製玩具、同年6月名古屋市子ども子育て支援センターへ木製玩具、2016年3月名古屋市科学館へ4種類の木製玩具、2017年3月に2種類の木製玩具、そして2018年2月に1種類の木製玩具を贈呈、2019年の2月に2種類の木製玩具を贈呈し、今日に至っております。20の作品が科学館2階の「ウッディ・プレイランド」で子どもたちを楽しませています。

「木曽川流域水源の里基金」は2008年12月に設立。木曽川上流地域の生産品を物販し、その売り上げの2%を基金に積み立てる仕組み。会員販売として安全・安心な自然食品、有機農産物などを行なっている名古屋生活クラブ、アイチョイスが、木曽川、飛騨川上流域の生産物である味噌、甘酒、コンニャク、心太、漬物、ミネラルウォーター、木工製品、お酒などを販売。その売り上げの2%を水源の里基金に積み立てています。今年からは、一宮生協が物販による基金の取り組みに加わりました。

水源の里基金の運用として、木曽青峰高校インテリア科に木製玩具やベンチなどの制作を依頼しています。(かわさき)

2019年の大豆作り・味噌造り報告

今年の大豆は心配された猛暑の影響を少し受けましたが、成育は順調に進んでいます。

一部に植えたポップコーンも鳥獣害にあわず、カボチャや落花生、トウガラシも収穫

時期を迎えています。

7月27、28日は味噌「みなもと」造りでお世話になっている小池糰店にて、味噌の天地返しの作業を行いました。一樽800kgほど

の味噌を別の樽に移し替える作業です。運ぶための大きなバケツから味噌が少し飛び出してしまったりもしましたが、慣れないながらも皆で汗を流しました。大豆作りでお世話になっている笹川さんも作業に参加。賑やかな天地返しとなりました。二日目は木祖村の大豆畑で草取り作業。

8月24、25日に大豆畑の草取りを行いました。今年は雨と高温でしっかり草が成長しているものの、大豆の畝の間は日が当たらず草はあまり大きくなっていません。ポップコーンの鳥獣害対策と草取りをしました。25日は木曾町で「手仕事市」が開催されていて、木曾青峰高校のブースを見てきました。

9月28、29日は木祖村でいつもお



みんなでハザカケに汗を流しました＝木祖村の畑で世話になっている笹川さんの田んぼで農業

体験。例年このころは稲刈りが行われるのですが、天候が安定せず台風などで雨が多い時期となっておりましたが、この日は貴重な晴れ間で脱穀を行うこととなりました。

10月26、27日は、大豆の収穫を行いました。前日までの雨がすっかり回復して大豆の収穫にのぞみました。ここ数年収穫作業は天候に恵まれず苦勞してきました。今年は27日の未明と作業終了後に雨が降りましたが、影響はほとんどなくやり遂げることができました。

26日の午前中に少しでも収穫を進めるため、早めに畑に着いて、ハザの組み立てやポップコーン・落花生などの収穫の準備をはじめました。家族連れで参加した方とみんなでポップコーンと落花生の収穫などを行いました。

鳥獣害にあわず、美味しそうなポップコーンがとれました。落花生も大きなジャンボ落花生で昨年以上の収穫となりました。

大豆は6月の苗の定植のとき、植え付けの株の数を一割増やしたことによると思われるのですが、ハザの長さが8間(ケン)から10間に増えました。

27日は木祖村の地元に移住して来られた方や笹川さんも収穫の応援に駆けつけてくださいました。感謝感謝です。

大豆のさやをいくつか開いてみましたがきれいな大豆の粒が入っていました。黒豆も例年以上の収穫が期待されます。殻たたきが楽しみです。

☆11月16、17日は殻たたきを行いますので、皆さんの参加をお待ちしております。

連絡先：090-4150-6156 みんな楽作隊 近藤

9月15、16日の今池まつりで物販

9月15、16日の二日間、ともに猛暑の中でしたが木曾広域連合地域振興課の皆さんと共に今池まつりで木曾川上流域での生産物の販売を行いました。

開田高原産のトウモロコシ「恵味(めぐみ)

ゴールド」をはじめ、盛りだくさんの木曾の野菜とみんなの会の味噌「みなもと」や木曾川流域図、エコバッグ、茶畑さんと木曾青峰高校のインテリア科の生徒さんのデザインした絵葉書を販売しました。

また、笹川さんが木祖村の大豆畑で段取りし



てくださった枝豆も好評でした。

トウモロコシは生で販売するものと蒸したもので毎年のように好評のうちに完売。暑い日のお祭りでしたが味噌「みなみと」も予想以上に販売できました。

収益は「木曾川流域水源の里基金」に積み立てます。

来年も9月に開催予定の今池まつりに取り組む予定です。

皆さんもぜひ遊びに来てください。楽しいおまつりの雰囲気味わって、ブースのお手伝いも大歓迎です。(近藤)

ゲノム編集食品、10月から解禁されて食卓へ

～安全審査なし、表示なしで流通、消費者は選べない～

ゲノム編集食品がいよいよ解禁されて輸入されます。アメリカではすでにファストフード店で油として使われ、飼料にもなっている「高オレイン酸大豆」が最初に入ってきます。さらに、アメリカではゲノム編集ナタネの商業栽培が始まり、小麦のゲノム編集開発が続いていますから、その他の農水産物、加工食品についても私たちの知らない間に次々とゲノム編集食品が輸入されるようになります。

知らない間になぜ？それは、消費者庁がゲノム食品であると表示することを義務付けないと決めたからです。しかも、厚生労働省は生産者や販売者に対して、安全性審査は必要ない、届け出だけでよいとしました。しかし、ゲノム編集食品は何が起こるか分からない遺伝子操作技術で作られたものです。深刻な毒性物質が生成したという事実もあります。

消費者は黙っていません。9月15日に「ゲノム編集技術を応用したすべての食品の規制と表示の義務化を求める」署名8万2,552筆を関係省庁に提出、「私たちはモルモットではない」と書いた横断幕やプラカードを掲げて、厚労省を取り囲んでアピール行動をしました。次回の署名集約は11月30日。来年の1月に提出行動です。

愛知では、10月27日(日)13時30～16時、名古屋YWCAで約140人が参加した集会がありました。講演はテーマが「食べない！ゲノム編集食品～生態系を破壊する遺伝子操作～」で、講師は河田昌東さんでした。この集会後、市内の栄周辺を80人がパレードしました。(水原)

<お知らせ> 「合唱団 風雅」の第18回コンサートが11月24日(日)14時開演(13時30分会場)、木曾駒高原内にある木曾文化公園文化ホールで行われます。入場料は500円。

指揮：唐沢昌伸、唐沢裕之 ピアノ・オルガン：唐沢尚之

女性合唱組曲「悲しみの意味」(作詞 星野富弘 作曲 なかにしあかね)、「ミサ・ブレヴィス第4番」(作曲 シャルル・グレー)、「日本のうた」…

水源の里を守ろう 木曾川流域みんなの会

連絡先：〒464-0075 名古屋市千種区内山3-7-11 さいとう事務所気付
TEL 052-745-1001 FAX 052-741-2588 Mail suigennosato@gmail.com